
病院線及びコミュニティバスひまわりの 再編の方向性について

与謝野町地域公共交通会議の開催状況

平成30年10月23日 第25回与謝野町地域公共交通会議を開催

⇒人口減少時代の新しい地域公共交通の検討

平成30年12月25日 第26回与謝野町地域公共交通会議を開催

⇒与謝線・福知山線路線、病院線を含む地域公共交通の再編を検討

平成31年2月21日 第27回与謝野町地域公共交通会議を開催

⇒与謝線・福知山線路線の再編案について議論

令和元年5月20日 第28回与謝野町地域公共交通会議を開催

⇒与謝線・福知山線路線の再編について令和元年10月1日より
再編を行うことで承認

(1) 持続可能な地域公共交通の確立に向けた対応が必要

- 路線バスの低い輸送量
- 消費税増税（8%→10%）に伴う運賃への反映
- 町財政負担増
- 加悦地域小学校（仮称）スクールバス新設との兼ね合い
- 高等学校の学舎制への移行や外来者需要を見据えた利便の確保
- コミュニティバスひまわり車両の耐用年数が数年先に到来

(2) 超高齢社会に向けた対応が必要

- 免許証自主返納など自家用車以外の移動手段を必要とする人の増加
- バス停までの移動が困難な人の増加
- 運転手不足

(1) 持続可能な地域公共交通の確立に向けた対応が必要

- 路線バスの低い輸送量
- 消費税増税（8%→10%）に伴う運賃への反映
- 町財政負担増
- 加悦地域小学校（仮称）スクールバス新設との兼ね合い
- 高等学校の学舎制への移行や外来者需要を見据えた利便の確保
- コミュニティバスひまわり車両の耐用年数が数年先に到来



**利用者ニーズへの対応と
公共交通網の生産性の向上**

(2) 超高齢社会に向けた対応が必要

- 免許証自主返納など自家用車以外の移動手段を必要とする人の増加
- バス停までの移動が困難な人の増加
- 運転手不足



- 高齢者が利用しやすい交通手段の検討（ラストワンマイルへの対応）
- 地域で移動を支え合う仕組みづくり

(1) 既存の交通機関の見直し

① 地域間幹線系統である丹海バス路線の見直し

恒常的に**輸送量15人を確保**できる路線を目指し、次の例のような見直しを検討

見直し例

- ・路線バスと他の交通手段で運行ルートが重複している箇所の整理
- ・需要に合わせた運行範囲、ルート（バス停）、ダイヤの見直し
- ・利便性向上や利用促進につなげるための、乗り継ぎの改善や運賃・ダイヤの見直し、車両の更新

② 地域間幹線系統に接続する地域内交通の見直し

地域間幹線系統の見直し結果を踏まえ、フィーダー（支線）輸送であるコミュニティバスひまわり（町営）の見直しを検討

(2) 新たな移動手段の導入

運行形態の見直しを行っても、路線バス等の公共交通機関だけでは、地域住民の生活に必要な移動手段が十分に確保できないと判断される場合、それらを補完するための新たな移動手段の導入を検討する必要がある。

◆利用の多い高校生の通学の足をしっかり確保し、次に利用の多い高齢者の買い物・通院等に配慮

- 加悦谷高校、宮津高校、峰山高校、福知山市内の高校への通学
- ウィル、フレッシュバザール、にしがき、フクヤ、与謝の海病院、開業医、金融機関等の利用



◆生産性を向上し持続可能な路線に (国庫補助制度を活用)

- 地域公共交通確保維持事業
(陸上交通：地域間幹線系統補助)
 - 主な補助要件
 - ・複数市町村にまたがる系統であること
(平成13年3月31日時点で判定)
 - ・1日当たりの計画運行回数が3回以上のもの
 - ・**輸送量が15人**～150人/日と見込まれること
※1日の運行回数3回(朝、昼、夕)以上であって、1回当たりの輸送量5人以上(乗用車では輸送できず、バス車両が必要と考えられる人数)
 - ・経常赤字が見込まれること
- 需要に応じた便数・ダイヤ設定
 - 需要の多い朝夕便を優先
 - 土日・祝日ダイヤ

2. 与謝線・福知山線の再編

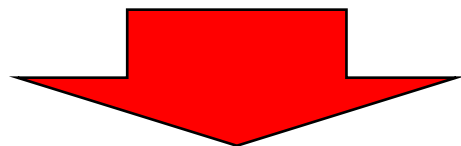
(平成30年10月 丹後海陸交通より)

■ 運転手不足

⇒丹海バスでもバス運転手が不足しており、現在も丹海バスで免許取得の補助を行うなど、運転手の確保に努めているところ。

■ 輸送量不足による国庫補助対象路線の要件を満たさない

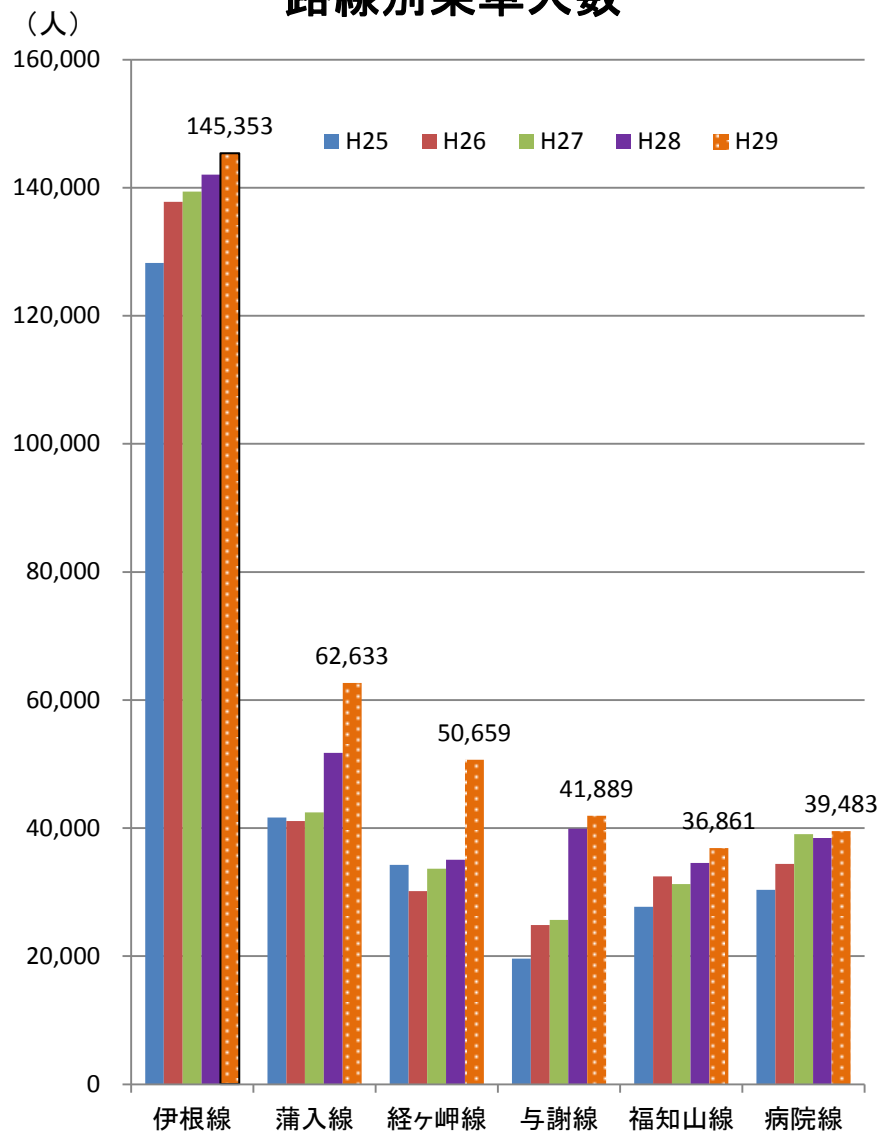
⇒与謝線、福知山線は国、京都府、沿線市町から補助金を支出して、路線を維持している。しかし、年間利用者数が少ないことから、国への補助金申請が不可となり、沿線市町で負担する金額が増加する見込み。



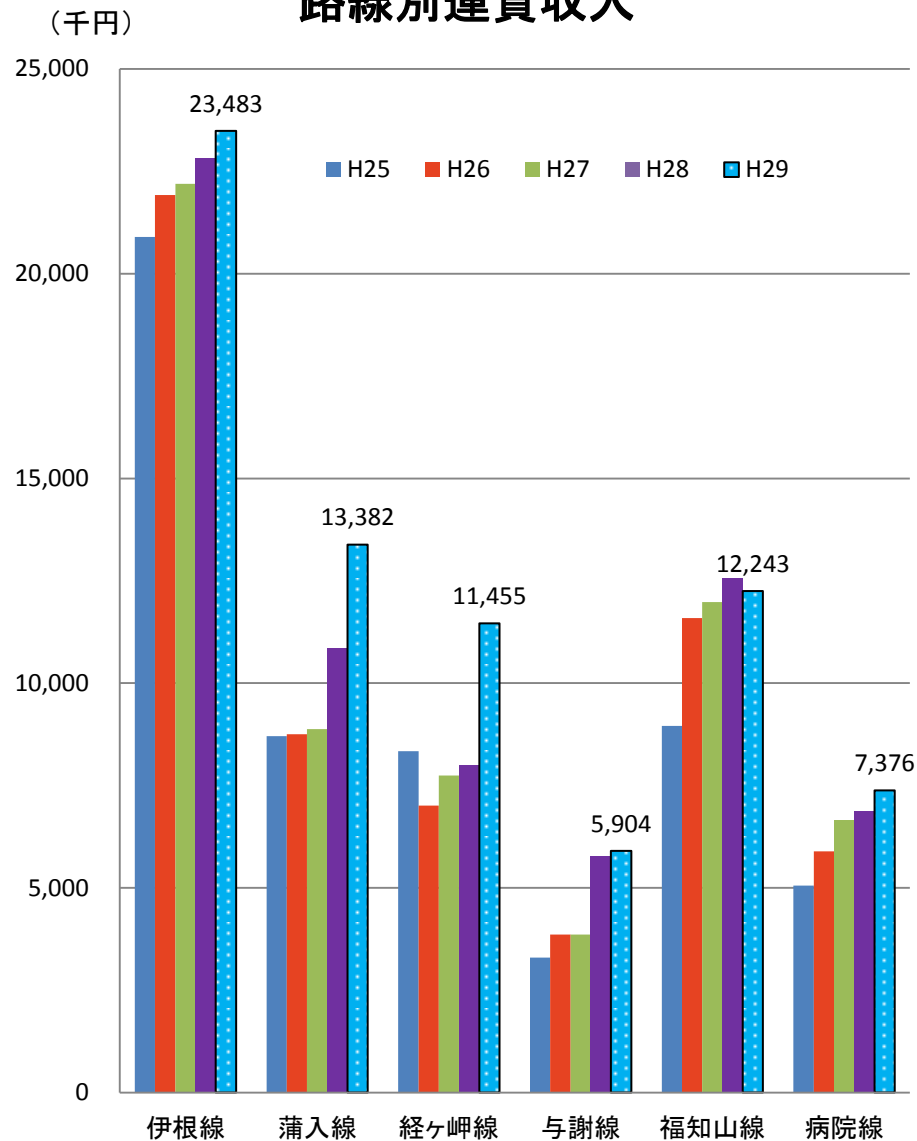
持続可能な路線に再編する必要あり

路線バス（丹後海陸交通株式会社）

路線別乗車人数



路線別運賃収入



注) 各年度は、前年の10月から当年の9月を期間に集計

運行本数の減便

	再編前		再編後	
	与謝線	福知山線	与謝線	福知山線
運行区間	天橋立ケーブル下～与謝	天橋立ケーブル下～共栄高校前	天橋立ケーブル下～与謝	<u>与謝</u> ～共栄高校前
運行便数	8便	10便	12便 内6便は福知山線と接続	6便 <u>朝昼夕それぞれ1往復</u>
運行日	年末年始運休便あり 年末年始運行便あり	年末年始運休便あり	年末年始・盆運休便あり 土日祝日ダイヤ導入	<u>平日のみ</u>

- ・資料1-1を参照

4. 病院線の再編について

課題（再掲）

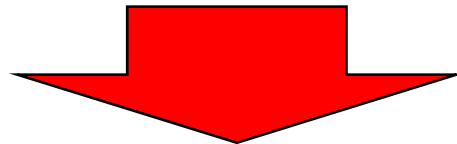
（平成30年10月 丹後海陸交通より）

■ 運転手不足

⇒丹海バスでもバス運転手が不足しており、現在も丹海バスで免許取得の補助を行うなど、運転手の確保に努めているところ。

■ 輸送量不足による国庫補助対象路線の要件を満たさない

⇒与謝線、福知山線は国、京都府、沿線市町から補助金を支出して、路線を維持している。しかし、年間利用者数が少ないことから、国への補助金申請が不可となり、沿線市町で負担する金額が増加する見込み。

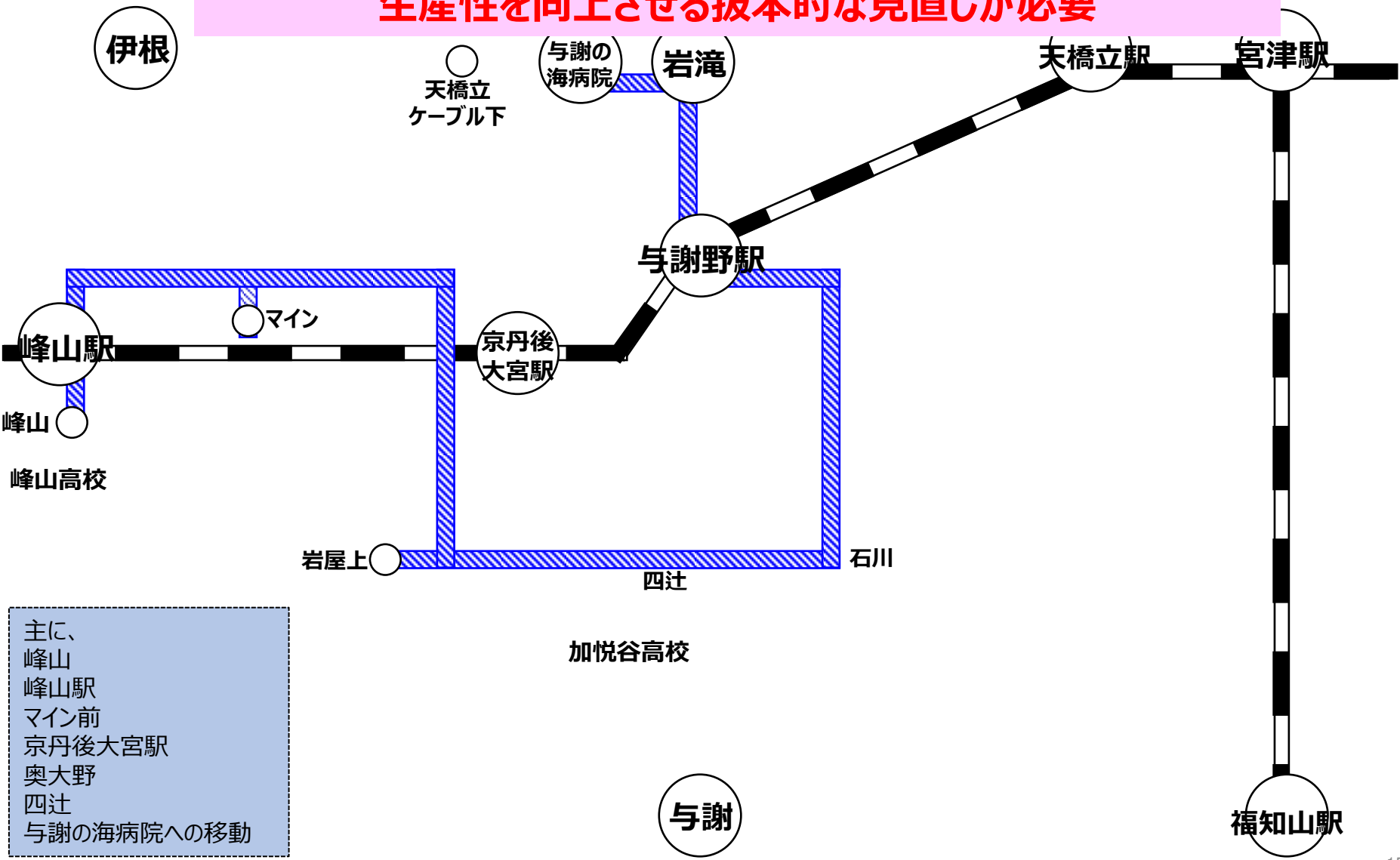


持続可能な路線に再編する必要あり

丹海バス（病院線）

(第26回与謝野町地域公共交通会議(H30.12.24))

**生産性が非常に悪く、国庫補助対象路線として維持困難
生産性を向上させる抜本的な見直しが必要**



主に、
峰山
峰山駅
メイン前
京丹後大宮駅
奥大野
四辻
与謝の海病院への移動

◆地域間幹線系統として改編

加悦谷高校への通学（四辻バス停）路線の一つとして利用されている点に着目し、生産性の向上が図れる改編を行い地域間幹線系統として路線の確保を目指す。

◆地域内交通により交通ネットワーク再構築

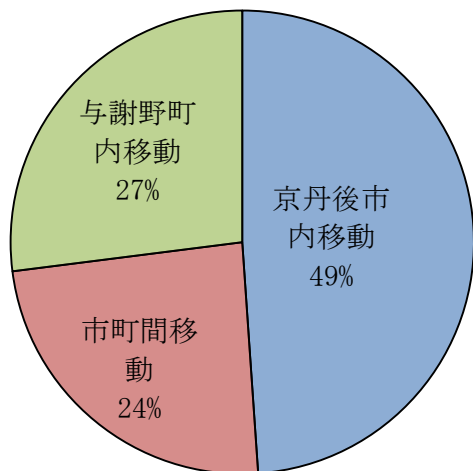
与謝野町内及び京丹後市内それぞれの地域内のフィーダー（支線）輸送により最適な交通ネットワークの構築を目指す。

病院線 利用状況

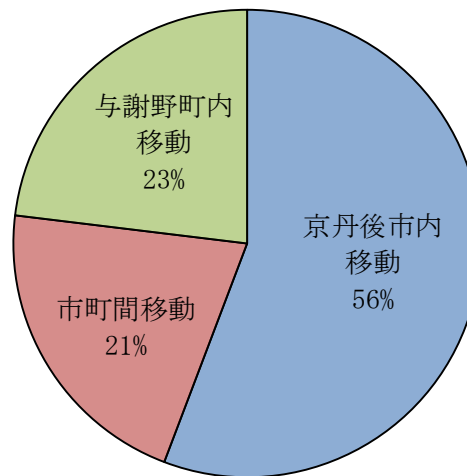
(R1.12月乗降調査より)

- 京丹後市内を移動する利用者が半数
- 与謝野町内、市町間を移動する利用者はほぼ同数

移動内訳(平日)



移動内訳(日・祝日)



■ 平日利用者

137名(内訳:市内移動 67名、市町間移動 **33名**、町内移動 37名)

■ 日・祝日利用者

52名(内訳:市内移動 29名、市町間移動 11名、町内移動 12名)

・市町間利用の内訳として、52%(17名)が10代の利用であり、さらに17名の利用者のうち、71%(12名)は京丹後市の学生が与謝野町への通学に利用されている状況です。

病院線再編の方向性について①

◆提案①

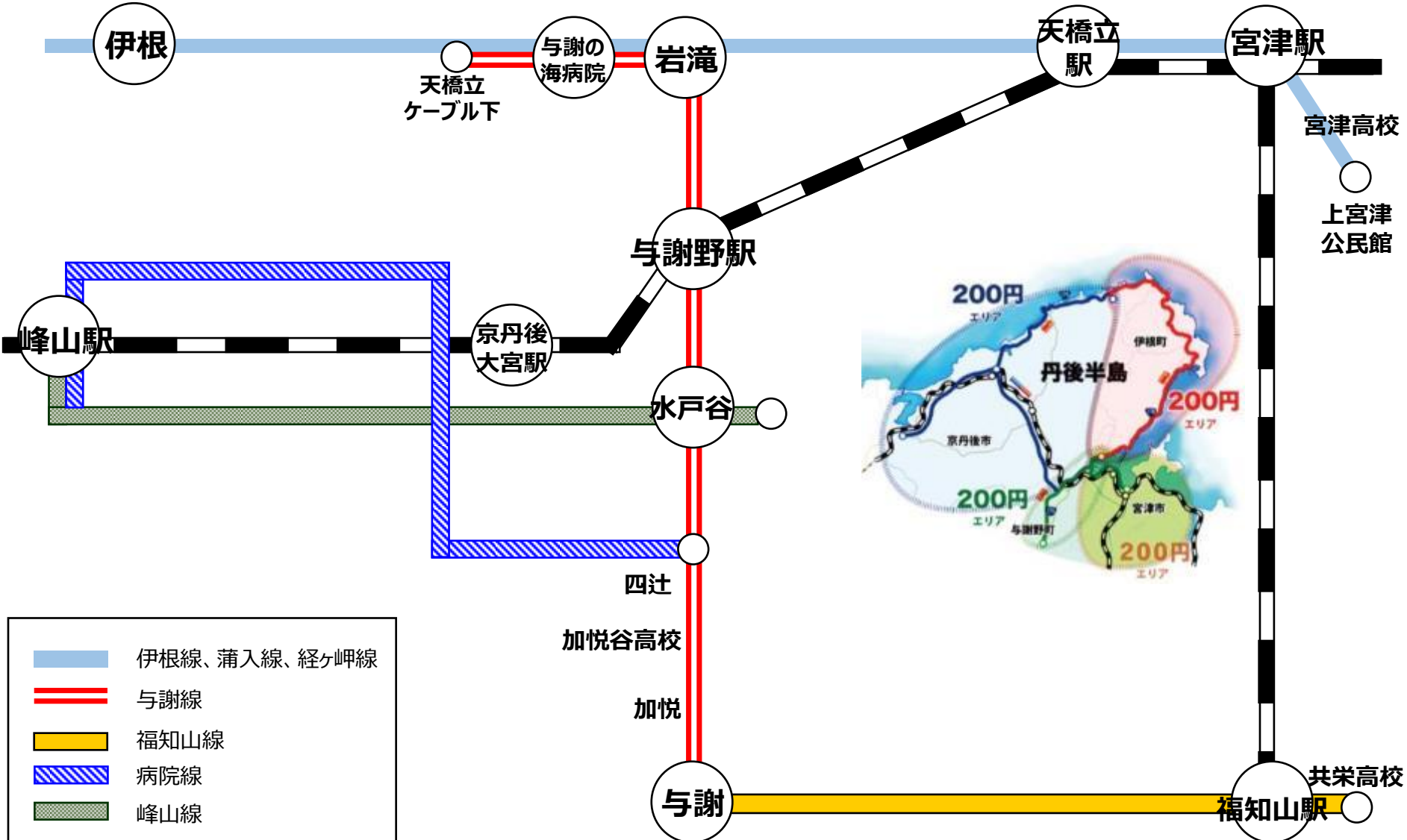
「病院線」を【峰山】から「与謝線」との結末点である【**四辻**】までのルートとし、市町間の通学の移動手段を確保する

◆提案②

コミュニティバスひまわりを再編し、岩屋地域を運行する「**岩屋線**」を設定する

提案① (丹海バス路線イメージ図)

路線図概要

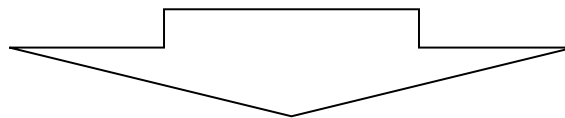


- 伊根線、蒲入線、経ヶ岬線
- 与謝線
- 福知山線
- 病院線
- 峰山線

提案②(コミュニティバスひまわり再編イメージ①)

<再編前>

路線名	起点	経由	終点	運行距離
奥滝線	鹿ノ熊	山河公民館、ウイル	野田川庁舎	約23km
加悦奥・石川線	加悦奥十番組	香河、川上、野田川庁舎、ウイル	加悦庁舎	約27km



<再編案>

路線名	起点	経由	終点	運行距離
奥滝線	<u>山河公民館</u>	鹿ノ熊、ウイル	野田川庁舎	約23km
岩屋線	<u>岩屋上</u>	<u>野田川庁舎</u>	<u>ウイル</u>	<u>約6km</u>
加悦奥・石川線	加悦奥十番組	香河、川上、石川、丹海 本社前、野田川庁舎、 ウイル	加悦庁舎	約30km

提案②(コミュニティバスひまわり再編イメージ②)

■使用車両

小型ノンステップバス(日野ポンチョ ショートタイプ) 1両
乗車定員27名(座席12+立席14+乗務員1)



■運行方式

定時定路線方式(定められたダイヤ・ルートに従い運行する)

■運行日、運行便数、時間帯等

日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日並びに1月2日、同月3日、12月30日、同月31日を除く日とし、各路線の運行日は次のとおりとする。

運行便数・時間帯は、各曜日、午前・午後それぞれ1往復とする。

路線名	運行曜日
奥滝線	火曜日・金曜日
岩屋線	
加悦奥・石川線	水曜日・土曜日

提案②(コミュニティバスひまわり再編イメージ③)

■利用料金

区分	普通利用料金	回数乗車券利用料金
大人	200円	11枚綴り 2,000円
小人(小学生)	100円	—
幼児(小学校入学前の者)	無料	—

■再編実施日

令和2年10月1日(木)